

Busan University of Foreign Studies

釜山外国語大学校

所在地

大韓民国 釜山広域市金井区金セム路485-65, A棟202号
ホームページ: http://www.buufs.ac.kr/html/00_main/

主な対象学部
外国語学部・語学留学(韓・英)

沿革

釜山外国語大学校は1981年、キリスト教精神と民主主義理念に基づいて、国際社会に必要な人材を育成するために設立された外国語中心の私立総合大学。開校当時は各種外国語と経営など10学科であったが、年々新たな外国語や国際通商専門知識、情報技術に関する学科が新設され、1988年には大学院(英語文学科・法学科)が設置された。1991年10月に大学校に昇格した。2014年には新しいキャンパスが南山洞に完成し移転した。国際的専門家養成のための特性化大学としてさらなる発展が期待されている。また世界各国の言語と文化、伝統などを体験できる「世界文化センター」が韓国で初めて設立された。略称はBUFS。

特色

- 英語・韓国語クロス：
英語学部(実用英語専攻、英米文化専攻)で英語による正規授業を履修する。また、韓国語文学部において『外国人の為の韓国語』を履修する。
- 韓国語プログラム：
コミュニケーション日本語学部で韓国語科目(留学生向け)、および日本語関係の専門科目を履修する。また教養としての英語科目(英語ネイティブ教員による)や韓国人学生とペアになって学ぶ科目も履修する。

宿泊

学生寮2人部屋(各自の勉強机、鍵付きのロッカー、下駄箱など。各部屋にシャワー、トイレ、洗面台、有線LANなどの設備がある)。申請は学期ごとなので、申請期間は厳守。

生活

気候は日本と変わらず、治安も抜群に良い。釜山広域市は半島の東南端に位置している大韓民国第一の港湾、海洋観光、国際会議の中心都市。釜山国際映画祭、釜山国際ロックフェスティバル、釜山世界花火祝祭などが開催される。地下鉄オレンジ・ライン南山(Namsan)駅が最寄り。駅からはスクールバスが運行している。

条件

- 英韓クロス留学：TOEFL (ITP) 450点、TOEIC (IP) 450点。留学時点で韓国語I～IIIを履修済みの者。
※条件が満たない場合も留学が許可される可能性があるため、希望者は担当教員までメールで連絡をすること。
- 韓国語プログラム：韓国語IIIまたはIVを修了していること。または同等の実力を有すること。
※JIC専攻：2年次に留学する場合、日本語を第一言語とする学生は、1年2学期終了時に基礎演習10単位以上修得、日本語を第一言語としない学生は、Sコース留学生で1年2学期終了時に基礎演習6単位以上修得であること。Aコース、Bコース留学生は3年次以降に留学する。

留学時期

- 英語専攻・IEC専攻：2年次2学期から4年次1学期までいずれかの2学期間。(2学期間が望ましいが1学期間でもよい)。
- JIC専攻：2年次2学期から3年次1学期までの1学期間、または2学期間。
※2学期：9月～12月 / 1学期：3月～6月



半年の留学を終えて

外国語学部英語コミュニケーション専攻 2016年留学 石渡 彩也華

私は3年生の後期から1学期間、韓国の釜山外国語大学に英韓クロス留学しました。英語をもっと勉強したいという気持ちとともに、第二言語として学んでいる韓国語も同じくらいしっかりと使いこなせるようになりたいという気持ちがありました。しかし留学当初は基本的な単語もわからず、寮内の放送や簡単なレベルの授業で英語を交えながら話してくれる先生の言葉でさえ理解するのが大変でした。ありがたいことに半年先に行っていた友達があったのでありとあらゆることをサポートしてもらいなんとか過ごしていました。

授業は、英語は会話・作文・大学英語(文法)・TOEICの4つと、韓国語は会話と表現・実用韓国語文法・タンデム・読解と理解・

TOPICの5つ、そして時間があっていたのでテコンドーを取りました。「タンデム」という授業は、日本語を勉強している韓国人学生と日本人留学生がペアになってお互いに母語を教え合う授業です。留学しているとはいえ韓国語の授業に韓国人はいないので、この授業は韓国人の友達を増やすことができるともいい機会でした。授業中は韓国語で話す時間と日本語で話す時間が決められているので、いやでも韓国語を話す機会を持つことができます。さらに体験学習といって、ペアで韓国を体験しに出かける時間も設けられているのでとても充実した内容でした。このタンデムで知り合った友達とは休みの日に遊んだり、家に遊びに行かせてもらったりと、とても仲良くなることができました。「読解と理解」という授業は、足りない単位を補うために聴講として受けた授業だったのですが、これもためになる楽しい授業でした。この授業は、自分のレベルに合ったクラスが正規にとっている授業の時間と被っていたの

で、はるかにレベルの高いクラスしかとることができませんでした。先生にもレベルの違いがすぎるとおどされましたが、これが返って良い結果につながったと思います。最初は教科書の長文一言一句を辞書で調べないといつての話なのがかえりかた、先生の話でも4割理解できればいい方でしたが、必死に食らいついていこうと勉強したことで次第に調べる量も減り、先生の言っていることもほぼ全てわかるようになりました。自分のレベルに合わせた他の授業は簡単すぎて嫌気がさしてしまうほどにまでなりました。初めは大変で履修したことを悔やんだりもしましたが、自分に合ったレベルではここまで勉強しなかったと思うので、挑戦してよかったと思っています。

少し心残りがあるのは、英語に関してです。英語の授業はしっかり取っていたのですが、普段は韓国人以外の友達とも韓国語で話したり、日本語専攻で日本語がとても上手な人が多かったりと、日常生活

で英語を使う機会があまりありませんでした。もっと積極的に英語を話す機会を設けるよう動けば、もっと充実した留学生活になったのではないかと思います。しかしTOEICの点数は上げることができませんでした。私は、卒業に必要な点数にまだ届いていなかったため、この留学中に取ろうと必死で勉強しました。

留学に来てすぐに思ったことは、私は今まで何をしていたのだろうということです。留学に限られた期間なのでその時間を無駄にしないように何が出来るかと考えながら過ごしていました。韓国に来る前の自分を振り返りたくさんの時間を無駄にしてしまっていたと感じました。同じ時間でもどう過ごすかによってその充実さは計り知れないほど大きく変わってきます。今私は留学を終えましたが、これからの限られた大学生活をより充実したものにできるように時間を大切に過ごしていきたいと思っています。